

令和7年度 第2回瑞穂町地域保健福祉審議会 質疑等について

質疑等(資料1-1 について)

ページ	取組番号・係名	質疑
-	評価指標 子ども家庭センター課 母子保健係	基本施策(1)「母子保健の充実」、評価指標「予防接種自動スケジュール作成モバイルサイト「ワクワクみずほ」 0歳児の登録率」が例年と比較して低いようです。考えられる理由などありますか。
	回答	委員ご指摘のとおり令和6年度は例年と比較し、登録率の低下がみられます。町の対応としましては、令和6年度も例年どおり訪問指導員(保健師又は助産師)が、乳児家庭全戸訪問時にモバイルサイト「ワクワクみずほ」の説明をし、登録を促しています。また、生後2か月頃の予防接種の予診票発送の際に、モバイルサイト「ワクワクみずほ」のご案内を送付しています。 登録率低下の原因は、はっきりとは分かりませんが、登録率を上げるのに一番効果があるのが個別に案内できる乳児家庭全戸訪問時の促しだと感じています。訪問指導員が、より丁寧に登録のメリットを伝え、登録者を増やせるようにしていきたいと考えています。
-	評価指標 健康課 成人保健係	基本施策(2)「健康増進の充実」、評価指標「特定保健指導実施率」について、例年と比較して高いようです。考えられる要因などありますか。
	回答	令和6年10月の組織改正により、健康課成人保健係が新設され、保健師1名(職員)、栄養指導専門員1名(会計年度任用職員)が配置されました。専門職による直営での実施体制が充実したことにより、実施率が増加したものと考えます。 また、実施率向上のため、特定健康診査集団健診と特定保健指導の同日実施日を5日設け、14人に特定保健指導を実施しました。
-	評価指標 健康課 成人保健係	基本施策(2)「健康増進の充実」、評価指標「生活習慣病予防事業の40代・50代の参加率」の糖尿病予防講座について、例年と比較して参加率が高いですが、工夫などがあれば教えてください。
	回答	令和5年度の該当年代の参加率は2.6%(対象者38人うち参加者1人)、令和6年度は8%(対象者25人うち参加者2人)でした。分子(参加者)が少ないため、参加率の数値の変動が大きくなります。 なお、令和6年度の該当講座の対象者は、①前年度の特定健診の受診結果による糖尿病のハイリスク者、②在住者のうちの受講希望者です。①に対しては個別の受講勧奨通知、②に対しては広報、SNSにより周知しました。全体の参加者数は14人(内訳①11人、②3人)でした。

1-2	1-(1)-② 福祉課 福祉推進係 社会福祉協議会	<p>各担当において、評点の差がある。福祉推進係では、令和5年度の課題を踏まえ、令和6年度では、しっかり取り組んでいるように見えるが、また、効果の判定 C、評点50にした理由を知りたい。</p> <p>また、社会福祉協議会では、令和6年度の結果を踏まえた今後の課題がそれなりにあるが、効果判定 A、評点90の根拠を教えてください。</p>
	回答	<p>【福祉課福祉推進係】</p> <p>地域福祉コーディネーター設置推進に向けた取組については、国の動向や関係機関等と協議をしながら、これから具体的な取組を進めていくものであると認識しているため、効果判定 C、評点50としました。</p> <p>【社会福祉協議会】</p> <p>各地域でのつながりづくりや課題を抽出し、地域で出来ることを実践していくための話し合いを継続しながら可視化し、次年度の実地の地域活動に結び付けていく動きができたためです。</p> <p>また、生活支援コーディネーターやボランティアセンターが、住民主体のサロン活動が負担なく運営ができるように後方支援しており、次年度には誰もが集える居場所づくり創設を目指し、空き家等の活用も視野に入れて関係者と検討していることも、根拠として挙げられます。</p>
1-3 1-7	1-(1)-② 社会福祉協議会	<p>地域つながり推進連絡会を町内6地区で開催し、生活に根差した声や様々な意見交換でできて有意義な会だったことと思います。この取り組みを積極的に発信し、多様な人材や多世代が参加できるとアイデアが広がるかもしれないと感じました。一緒に考えていく中で具体的な取組につながっていくといいですね。</p> <p>(質問)地区ごとに出てきた内容(現状や課題)について、主なものを教えてください。</p>
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や寿クラブ等の加入者は様々な活動があり、つながりもあるが、一方若い世代や仕事している中間層の男性、退職者や新たに引っ越ししてきた人たちが孤立しやすい。 ・つながりのきっかけをつくるためには、あいさつが大事。あいさつから、地域で自然と緩やかにつながる環境ができるため、あいさつをし合える場を作れるとよい。 ・地域みんなが参加でき、つながることのできる居場所やイベントなどがあるとよい。
1-3	1-(1)-② 社会福祉協議会	<p>元狭山地区での懇談会では、「地域交通」をテーマにテーマに話し合わせ、デマンドタクシーの活用についての説明会につながりました。令和6年度に実施されたアンケート調査でも、交通手段の確保についてのニーズが高いことが分かりました。</p> <p>(質問)デマンドタクシーの説明会後の反応は、どうだったのでしょうか。</p>

回答		<p>説明会終了後、その場で担当者に数名、登録用紙を提出していました。</p> <p>また、説明会にて具体的な手続きや利用方法がよくわかり、説明会に参加してよかったという声が多く聞かれました(逆を言えば、説明を受けなければよくわからず、使わなかったという方も多かったです)。</p> <p>その後の反応については、近くにバス停があるため、複数名の方が、病院などに利用をしている等の声を聞いています。</p>
1-15	1-(4)-② 社会教育係	令和3年度から、毎年、効果 C、評点50が続いているが、計画や取組の見直しが必要ではないか。
回答		<p>子ども会については、支援を継続していきます。</p> <p>東京都子ども会連合会や工夫して活動し実績をあげている子ども会の情報を、各子ども会や現在子ども会がない町内会等へ情報発信をしていきます。</p> <p>また、これからの子ども会の存続については、子ども会や子ども会連合会、青少年が関わる各種団体と情報交換、認識の共有を図り、引き続き関係する方々と時代の変化や地域の実情に応じた様々な子ども会の形を考えていきます。</p>
1-20	1-(5)-② 社会福祉協議会	今後の課題として、「寿クラブ連合会や町等と調整する必要があります。とあるが、取組内容の進捗状況は5でよいのか
回答		<p>事務局としての後方支援については、移動支援、助成金申請書類作成支援や、ふれあいセンター内倉庫に活動備品を保管する等、支援を継続させてきました。</p> <p>今後の課題については、高齢者福祉センターの指定管理が社会福祉協議会からミズカルに移行するため、支援内容や役割については、寿クラブ連合会や町等と調整する必要がありますが、現状の進捗状況としては上記の記載を勘案し、5としました。</p>
2-1 2-3 2-6 2-10	2-(1)-① 2-(1)-② 2-(2)-② 2-(3)-④ 福祉推進係	令和3年度から、毎年、効果 C、評点50が続いているが、計画や取組の見直しが必要ではないか。
回答		<p>2-(1)-①と 2-(1)-②の、地域福祉コーディネーター設置推進に向けた取組については、国の動向や関係機関等と協議をしながら、これから具体的な取組を進めていくものであると認識しているため、効果判定 C、評点50としました。</p> <p>2-(2)-②の地域に開かれた福祉教育の実践及び 2-(3)-④の定年退職者などへの地域活動参加の機会と情報の提供については、毎年、情報提供を行うにとどまっていることから、効果判定 C、評点50としました。</p> <p>毎年効果判定 C、評点50が続いているこれらの取組については、計画や取組の見直しを行いたいと考えています。</p>

2-20	2-(5)-② 社会教育係	令和3年度から、毎年、効果 D、評点 20が続いているが、計画や取組の見直しが必要ではないか。
回答		<p>町民への学習機会の提供は引き続き必要と考えており、令和6年度に総合人材リストの更新作業を行いました。今後も定期的に更新作業を行いつつ、生涯学習推進団体の更新時や広報・ホームページ等で広く周知をしていきます。</p> <p>また、多世代交流センターMIZCUL でも地域の人材を活用した事業展開を模索しているという情報も聞いているので、連携して新たな方向性を見出していければと考えています。</p>